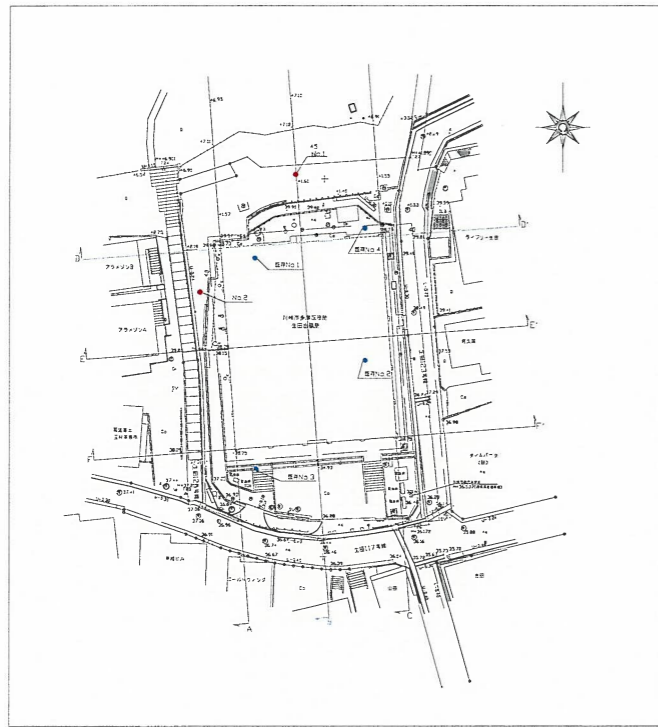


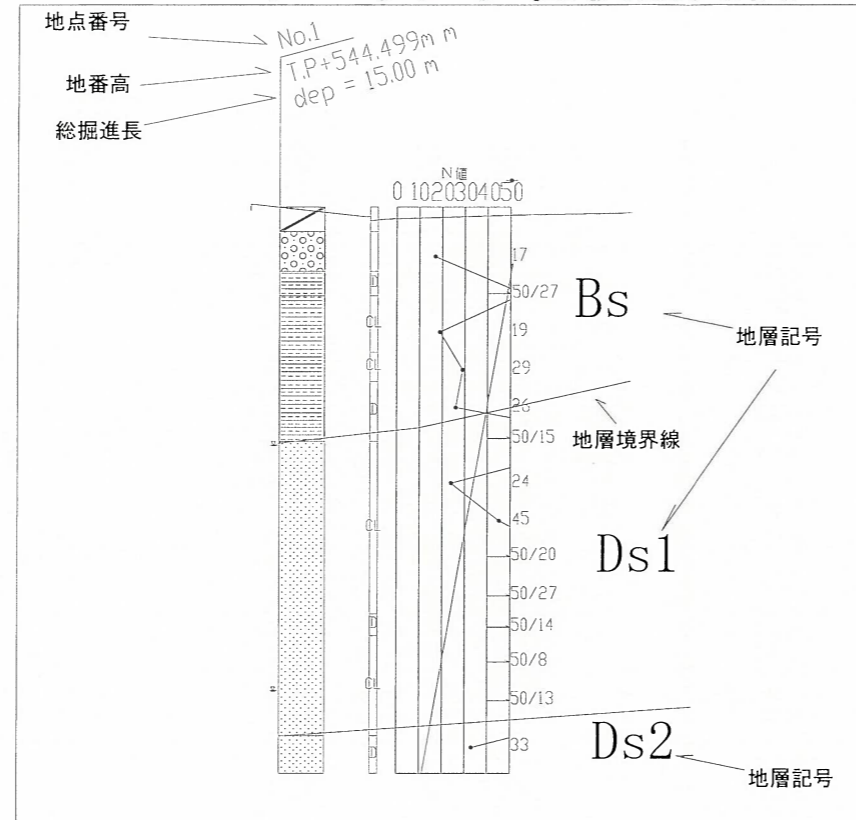




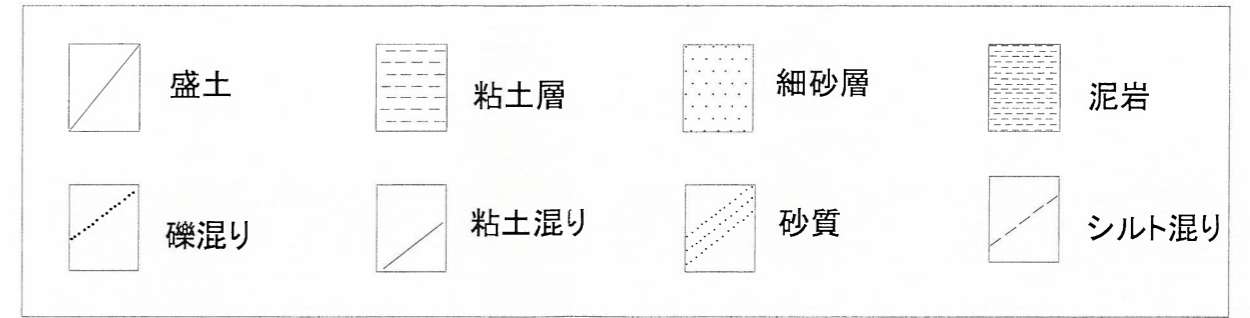
# 断面位置図



# ボーリング柱状図凡例



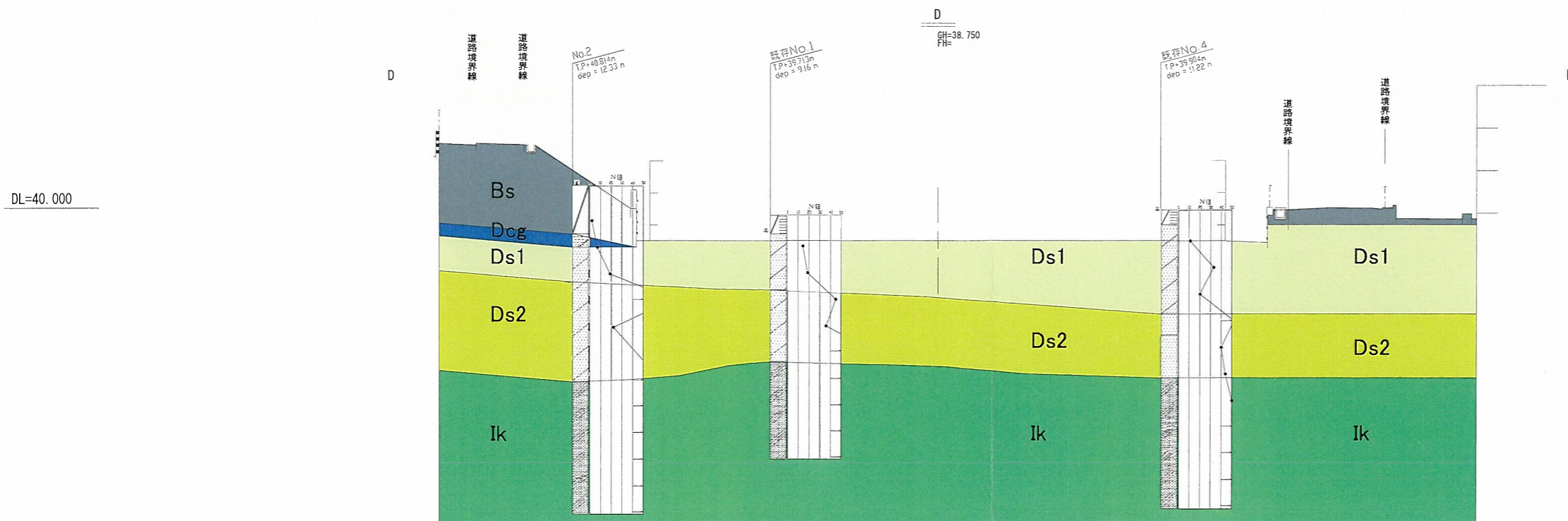
# 柱状図記号凡例



# 地層 凡例

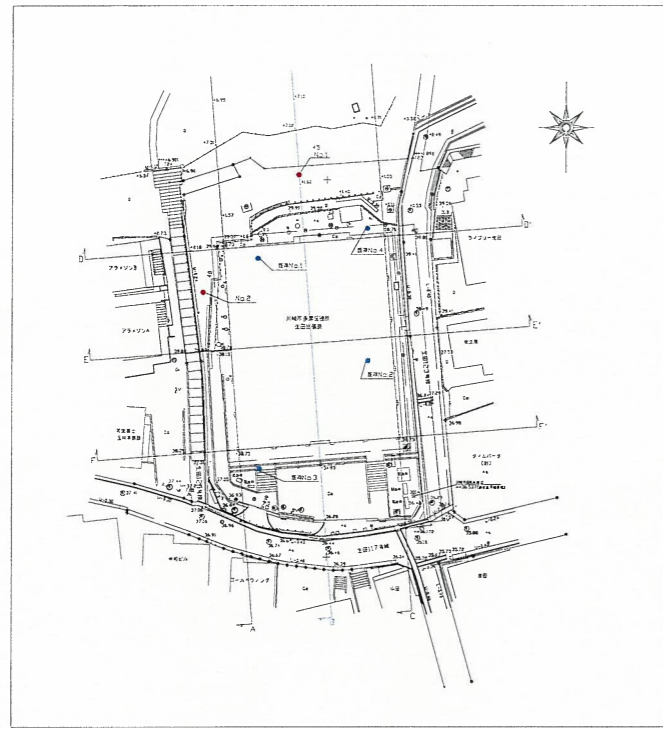
地質時代	地層名	地層記号	N値 (代表N値)	層厚 (m)	記 事
完 新 世	現世 盛土層 (粘性土)	Bs	2~9 (5)	0.8~1.8	全体にシルト主体で、所々にφ=2~40mm程度の亜円礫混入する。含水量は少~中位で粘性はNo. 1では弱く、No. 2では強い。
	中 後 期 更 新 世	相模層群 ローム層	Lm	2~3 (2)	2.5
相模層群 洪積礫混り粘性土層		Dcg	5~7 (6)	0.5~0.6	粘土が主体で、所々にφ=2~20mm程度の亜円礫を混入する。含水は少~中位で、粘性は強い。
相模層群 洪積第一砂質土層		Ds1	8~33 (13)	2~2.9	粒子均一な細砂層で、全体的にシルトを不規則に混入する。全体的に含水は中位。
前 期 更 新 世	上総層群 洪積第二砂質土層	Ds2	22~79 (41)	2~4	粒子均一な細砂層で、所々にシルトを薄層状に挟む。含水量は少~中位。No. 1の下部で半固結から固結状のシルトをブロック状に混有する。
	上総層群 泥岩層	Ik	50~106 (66)	4.6~4.9 以上	全体に含水量は少なく、硬質である。所々に細砂を薄層状に挟む。細砂部においては含水量は中位である。

# 地質想定断面図

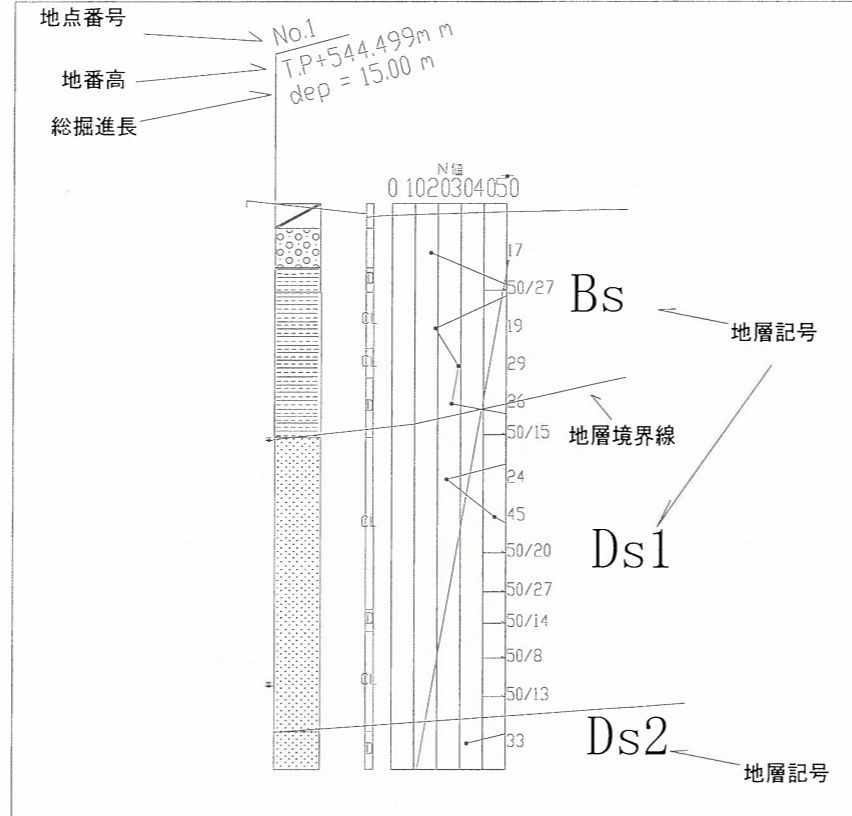


名 称	多摩区役所生田出張所地質調査業務委託
所在地	川崎市多摩区生田7丁目16-1
図面種別	横断面図 縮尺 1:200
図面番号	2/2
測量年月日	平成29年 10月
調査会社	興亜開発株式会社
川崎市まちづくり局	

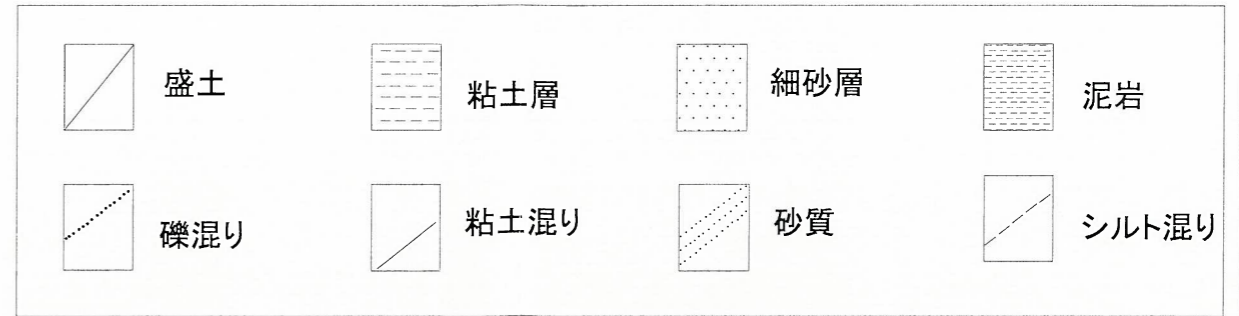
# 断面位置図



# ボーリング柱状図凡例



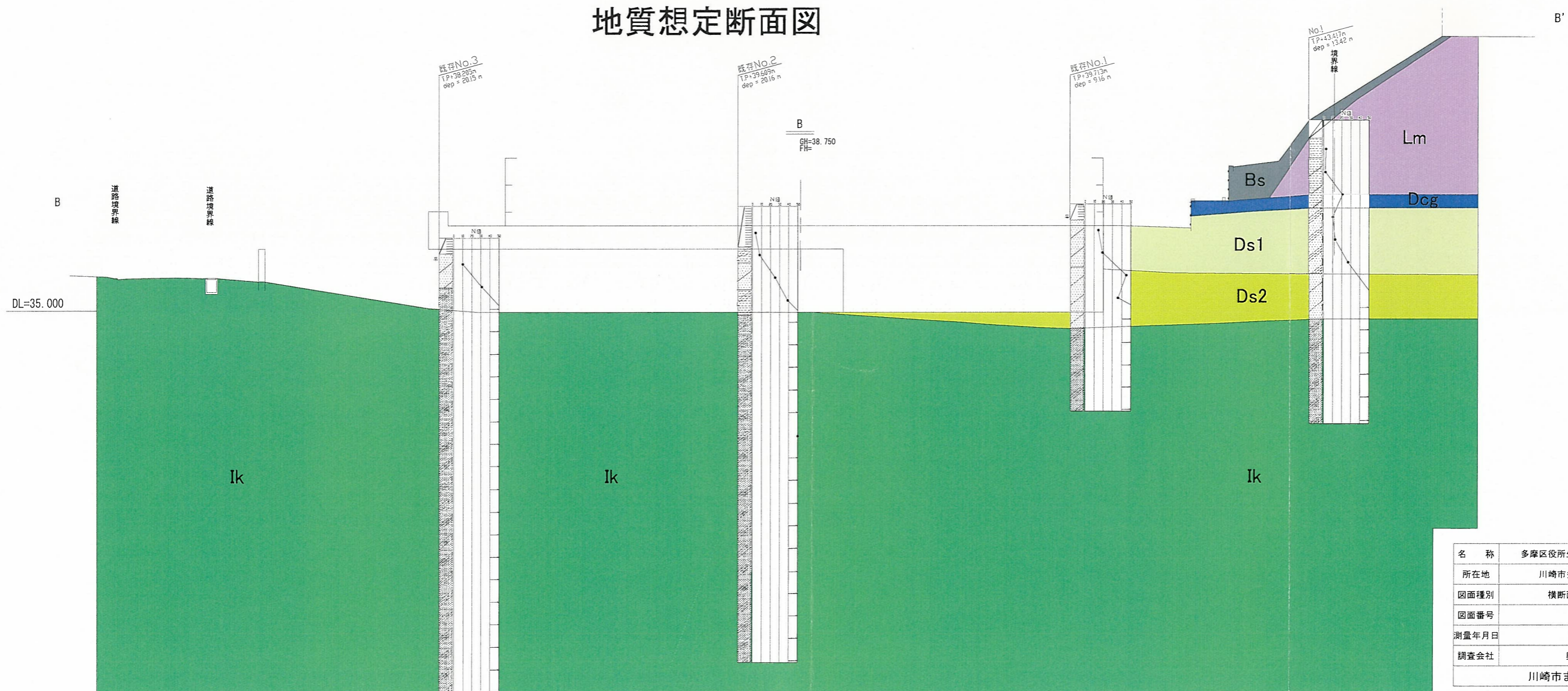
# 柱状図記号凡例



# 地層 凡例

地質時代	地層名	地層記号	N値 (代表N値)	層厚 (m)	記 事
完 新 世	盛土層 (粘性土)	Bs	2~9 (5)	0.8~1.8	全体にシルト主体で、所々にφ=2~40mm程度の垂直円礫を混入する。含水量は少~中位で粘性はNo.1では弱く、No.2では強い。
	ローム層	Lm	2~3 (2)	2.5	粘土及び砂混じり粘土からなる。上部は均質で下部は不均質でφ=20~30mmの垂直円礫を混入する。含水量は少~中位で粘性は強い。
中 〜 後 期 更 新 世	洪積礫混り粘性土層	Dcg	5~7 (6)	0.5~0.6	粘土が主体で、所々にφ=2~20mm程度の垂直円礫を混入する。含水量は少~中位で、粘性は強い。
	洪積第一砂質土層	Ds1	8~33 (13)	2~2.9	粒子均一な細砂層で、全体的にシルトを不規則に混入する。全体的に含水量は中位。
前 期 更 新 世	洪積第二砂質土層	Ds2	22~79 (41)	2~4	粒子均一な細砂層で、所々にシルトを薄層状に挟む。含水量は少~中位。No.1の下部で半固結から固結状のシルトをブロック状に混入する。
	泥岩層	Ik	50~106 (66)	4.6~4.9 以上	全体に含水量は少なく、硬質である。所々に細砂を薄層状に挟む。細砂部においては含水量は中位である。

# 地質想定断面図



名 称	多摩区役所生田出張所地質調査業務委託
所在地	川崎市多摩区生田7丁目16-1
図面種別	横断面図 縮尺 1:200
図面番号	1/2
測量年月日	平成29年 10月
調査会社	奥亜開発株式会社
川崎市まちづくり局	